

菊池養生園保健組合菊池広域保健センター利用者のみなさまへ

2024年6月28日

菊池養生園保健組合菊池広域保健センター

1 研究課題名

SMS（ショートメール）を特定健診の受診勧奨に活用することによる受診率向上効果についての研究

2 研究目的

2008年度から、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定健康診査（特定健診）及び特定保健指導が開始された。厚生労働省による2008年度からの特定健診の受診率は、2008年度の38.9%から2020年度の53.4%と上昇がみられる。保険者別の受診率は、健康保険組合や共済組合において高く、市町村国保や国保組合、全国健康保険協会、船員組合において低い。市町村国保において、自治体の保健計画の立案・実施の観点からも受診率の向上は重要であり、それに寄与する手法の開発が求められる。

近年、受診率を向上する手法としてナッジを中心とした受診率対策が繰り広げられおり、そのひとつにコールリコールがある。コールリコールは、受診を促す対象者へ手紙や電話などによる連絡手段を用いて受診勧奨をした後に再度手紙や電話などで受診勧奨を行う手法で、一定の成果を上げることが報告されている。当組合では菊池市から受診率対策事業の委託を受けて電話による受診勧奨を実施している。対象者との連絡手段としてはSMSも手段の一つとなり得ることから、当組合が実施する電話による受診勧奨をした後に再度SMSで受診勧奨をするコールリコールを実施するとこれまで以上に受診率を向上できるという仮説を立てた。

そこで、本研究では、特定健診未受診者に対して、電話をした際に不通だった者にSMSを送信するにあたって、どのようなSMSのメッセージを送ることが、特定健診の受診率向上に有効であるのかを評価する。これにより、特定健診受診率の向上に寄与するコールリコールについての新たな知見を得ることを目的とする。

3 研究方法

1) 対象者

2024年度及び2025年度に菊池養生園保健組合で行う菊池市特定健診未申込・未受診者に対するコールリコール事業で対象となった者。

2) 実施方法

コールリコールは、電話をした際に不通だった者にSMSを送信することで実施する。SMSを送信する対象者の中から性、年齢階級（40歳代、50歳代、60歳代、70歳代）別に対象者を無作為に調整して2つに群分けし、両群に異なる内容のSMSを送信する。

SMSの内容のうち1つは、健診の受診を促す標準的な文章を作成する。もう1つは、2022年度に当組合で実

施した電話による特定健診の受診勧奨にて健診を申し込まなかった理由を聞き取っており、その結果に基づき作成する。申し込まなかった理由は、「病院に通院しているから」が最も多かったため、それに対応する文章を作成する。

2024 年度及び 2025 年度の特定健診受診率から、電話と SMS を活用したコールリコールの有効性を評価するとともに、SMS の内容が受診率向上に寄与するか群間差を確認することで評価する。

5) 実施場所

菊池養生園保健組合菊池広域保健センター内で行う。

6) 実施時期

2024 年 7 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

4 調査協力者のプライバシーの保護

- ・データは全て統計的に処理し、個人が特定される形で結果を公表することはない。
- ・学会等で報告する時は、平均値・中央値等の集約した形式で行なうため、個人が特定されることはない。
- ・データはコード化し個人を特定できない数値等として、インターネットに接続しておらず、かつ、パスワードを要するパソコンを用いて処理を行い保存する。
- ・情報管理者は、研究責任者とする。
- ・研究の成果は、研究対象者ご本人の氏名等の個人情報明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表します。
- ・収集した情報、データ等は厳重な管理のもと、研究終了後 5 年間保存されます。保管期間終了後には、記憶媒体内のデータを完全消去いたします。
- ・この研究に関して、謝金は発生いたしません。
- ・研究に保健センター利用に関する情報などを利用して欲しくない場合について、ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

5 本件のお問合せ窓口

菊池養生園保健組合菊池広域保健センター 保健予防課食養生指導係 中村允俊

電話番号：0968-41-8995